

## KAVC FLAG COMPANY 2019-2020

## ももちの世界 #5 『ハルカのすべて』




## 「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」公演 第6弾！

## 都市の「音」を舞台上に載せる。気鋭の劇作家・ピンク地底人3号が送る新作公演

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燮) は、「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」の第6弾公演として、ももちの世界 (ももちのせかい) 『ハルカのすべて』の公演を開催します。

「KAVC FLAG COMPANY」は、舞台芸術分野における KAVC の年間プログラムとして、2019 年より新たに始まった舞台芸術セレクションです。アーティストと劇場が協働して多様な舞台表現を生む“創る劇場”を目指し、その基盤をつくるべく本企画を始動いたしました。初年度となる今回は、舞台芸術プログラム・ディレクターのウォーリー木下氏がセレクトした、関西を拠点に意欲的な作品を発表している7つの劇団の演劇公演を、当センター KAVC ホールにて、一年を通して上演いたします。

第6弾公演に登場するももちの世界は、2015年に発足。その後メンバー体制を変えながらも活動を続ける。元納棺師という異色の経歴を持つピンク地底人3号の、如何にして「生きること」と「死ぬこと」を描くかという問いを軸に展開される物語は、2019年『わたしのヒーロー』で第6回せんだい短編戯曲賞大賞、2019年『鎖骨に天使が眠っている』で第24回劇作家協会新人戯曲賞をダブル受賞するなど高い評価を得ています。

本作『ハルカのすべて』は、都市の「音」を舞台上に載せ、見逃された音を拾い上げる事で我々の日常を全く別の形で持って提示することを目指す意欲作。作・演出をピンク地底人3号が手がけます。

会 場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

公演日：2020年2月7日(金)～2月9日(日)

2月7日(金) 19:30

2月8日(土) 13:00 / 18:00 ★

2月9日(日) 13:00 / 17:00

※開演の45分前受付開始、30分前開場

※未就学児童の入場は不可

★…終演後、アフタートークあり

登壇者：

ケラリーノ・サンドロヴィッチ

ウォーリー木下

ピンク地底人3号



## チケット料金：

一般：3,300円、学生：2,500円(要学生証)、当日券：3,500円(一律)

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 竹下・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356 Mail [press@kavc.or.jp](mailto:press@kavc.or.jp)  
※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## 作品について

本作『ハルカのすべて』で、私は都市の「音」を舞台上に載せたいと思っています。

普段、我々は周囲の音を無意識に選別しています。車の音、電車の音、洗濯機の音、鳥の鳴き声等、毎日のように鳴っているはずの音を実は我々は全く聞いていません。

今回は、それらの「音」を見逃していると仮定します。見逃された音を拾い上げる事で我々の日常を全く別の形で持って提示できればと思っています。

主人公はハルカです。ハルカは都市を歩きます。そして都市によって奏でられた音がハルカの心象風景を描き出します。

ハルカはまた我々の鏡でもあります。都市の音がハルカの身体で反射し、世界（我々）を変えていく、そんな作品をお見せできればと思います。（ももちの世界・ピンク地底人3号の言葉）

**作・演出：**ピンク地底人3号

### 出演：

のたにかな子、竹内宏樹（空間 悠々劇的）、白木原一仁（プロデュースユニットななめ45°）、石井テル子（Micro to Macro）、大石英史、新免わこ、たにがわさき（凡タム）、永石薫（劇団テフノロG）、中山佳祐（カンセイの法則）、日向花愛（スピカ）、藤澤賢明、ぼんちくりん、峯素子（遊気舎）、吉沢紗那（スクエア）

**舞台監督：**小野かっこ

**パントマイム指導：**白木原一仁（プロデュースユニットななめ45°）

**照明：**葛西健一

**宣伝美術：**Chanmi

**音響：**Alain Nouveau

**制作：**秋津ねを（ねをばあく）

**演出助手：**脇田友（スピカ）

**舞台美術：**久太郎（Anahaim Factory）

**共催：**神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）

**企画・製作：**ももちの世界

## ももちの世界 プロフィール

2015年にピンク地底人3号のイマジナリーフレンド、桃地 patric 伸弥の作品を上演するための団体として発足。桃地が母国アメリカへ帰国した後は3号がピンク地底人では出来ない作品を上演する場に変化を遂げる。元納棺師という異色の経歴を持つ3号の、如何にして「生きること」と「死ぬこと」を描くかという問いを軸に展開される物語は、2019年『わたしのヒーロー』で第6回せんだい短編戯曲賞大賞、2019年『鎖骨に天使が眠っている』で第24回劇作家協会新人戯曲賞をダブル受賞するなど高い評価を得ている。

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 竹下・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356 Mail [press@kavc.or.jp](mailto:press@kavc.or.jp)  
※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。